



令和5年度
日本ビクター・JVCケンウッド退職者の会
第21回総会議案書



三田 友愛会館 9階 大会議室
令和5年（2023年）2月11日（土）

議案書目次

【報告】

報告 1	令和 4 年度	活動報告	・・・	P 1 ～ 2
報告 2	令和 4 年度	会計収支決算報告	・・・	P 2 ～ 3
報告 3	令和 4 年度	会計監査報告	・・・	P 3

【議案】

第 1 号議案	令和 5 年度	活動方針に関する件	・・・	P 4 ～ 7
第 2 号議案	令和 5 年度	予算案に関する件	・・・	P 8
第 3 号議案	役員改選の件（令和 5 年度・6 年度）		・・・	P 7



報告1 令和4年度活動報告

1. この1年を振り返って

◆ 前年度と同様にこの一年もコロナに翻弄されました。すでに一昨年となってしまうましたが、当時のコロナ禍の状況から判断して、令和4年度の総会開催について令和3年8月の段階で会員の皆様には10月には行わず、年明け2月に開催する旨の案内を送っていました。

皮肉なもので、10月にはコロナが一気に落ち着きを見せて、10月に開催すればよかったな…と、思っても後の祭り。年明けには更に落ち着くかと淡い期待を持ちながら、2月の総会開催に向けて準備を進めていました。ところが、昨年年明け以降オミクロン株が一気に広がって感染者数は大爆発。残念ながら第20回の総会も書面審議となってしまいました。結果についてはシニアクラブ便り令和4年3月号(JKR0403)で報告の通りです。

◆ その総会議案賛否の回答にあわせてアンケートを行いました。その結果では、総会とは別に機会を改めて会員同士の交流を願う声が多くあり、7月22日(金)には「シニアクラブ活動20周年記念特別企画」として屋形船に乗って羽田沖でジャズライブを楽しむ会を開催しました。夏に向かう中、コロナ第7波が近づく気配もあって参加者激減の心配もありましたが、3年ぶりに漸く開催された顔あわせの会となりました。【その時の模様は右QRコードで】



◆ 前後しますが、7月10日は参議院選挙の投票日でした。JAMと基幹労連が組織内候補として支援した「村田きょうこ」候補が当選しました。過去3回連続で組織内候補を擁立しながらも当選を果たすことができませんでした。そのため立候補する党の変更など、組織内で様々な意見交換を経て「立憲民主党」からの出馬で当選を果たすこととなりました。当シニアクラブとしても選挙に向けての応援カードへの協力を行い、選挙結果についてはシニアクラブ便りJKR0408で報告しています。10月から第210回臨時国会が始まり、村田議員の所属委員会は「経済産業委員会」「予算委員会」「消費者問題に関する特別委員会」となり、早速それらの委員会の中で質問に立っています。その一端は <https://youtu.be/zBOEPLDZDAc> で観ることができます。

◆ そのほかの活動報告は9月に写真集の形でお届けした「令和4年度活動の記録」保存版(右 QR コード)をご参照ください。



活動の中心は前年と同様に、オンライン会合となりました。前年に故郷(ふるさと)紹介が何回か続きました。そこで、総会アンケートにおいて会員が生まれた地と故郷についての意識をお尋ねしました。その結果は3月のオンライン会合報告の中で紹介しております。戦前、戦中に海外で生まれた方もおり、更に東京生まれだけれど小さいころ疎開や、夏休みを過ごした親の故郷が自身の故郷と思っているなど、当時の世の中の事情を反映して歴史を感じるものでした。

◆ 2月にロシアがウクライナに侵攻しました。オンライン会合では「国歌」をテーマにして、東西ヨーロッパの狭間で過去から長い間諜いが繰り返されてきた国々の歴史を眺めてみました。

今でもその歌詞の中には「戦い」や「祖国＝故郷」を歌うものがあって、陸続きで国境を接する諸国と、日本のように海に囲まれた国との意識の差を感じるものでした。

そしてほぼ毎回のように、浅見さんからギターを弾きながらの歌の紹介がありました。会合のテーマにあわせて、春は「歌でお花見」そして「反戦歌から子守歌」「シルバー替え歌」と多岐にわたっての熱演や、その歌が歌われた時代背景などの興味深い説明もありました。

シニアクラブ便りやオンライン会合報告を毎月発行してきましたので、それを改めて読み返すなり、HPからバックナンバーを確認するなりして、是非思い返していただきたいところです。

2. 会員情報

◆ 令和4年(2022年)12月1日現在の会員数は187名で、この1年で3名の新規加入がありました。この報告では196名だったので9名減となります。

右図は8月1日現在の会員の年齢構成です。これはデータのある177人の分布で、平均年齢が77.4歳となっています。60歳代の会員は10名、86歳以上の終身会員は11名となっています。(数字詳細は目次ページ参照)



会員数推移も大きな図を目次ページに載せてあるのでそれを参照ください。ここではトレンドを確認してもらえれば結構です。

平成26年度の245人をピークに、以降減少し続けています。新規加入者が少ない理由として、年金支給開始の後退、雇用延長などの要因が挙げられます。更にOB会組織の存在を知らない人、知っていても加入の方法を知らない人も多くいるようです。定年退職者はもとより、途中で転職する人にも在職中にOB会組織の存在を知らしめる活動が必要と考えています。

◆ 12月1日現在の地区別会員数は以下の通りです。(カッコ内は昨年からの変動)

神奈川 88(-7)、東京・埼玉 28(-1)、千葉 27(-1)、茨城 35(±0)、群馬・他 9(±0)

報告の最後に、この1年間にお亡くなりになられた会員・元会員のご冥福をお祈りいたします。

(神奈川支部)	飯島 康夫 様	享年79歳	御命日:令和4年 3月24日	【合掌】
(千葉支部)	宇田川 修彦様	享年80歳	御命日:令和4年 8月25日	
(茨城支部)	岡見 富大 様	享年81歳	御命日:令和4年10月 1日	
健康を理由に退会后				
(神奈川支部)	石塚 勝 様	享年82歳	御命日:令和4年 6月 1日	

◆ 令和3年度・4年度役員(以下の通りでした)

《会長》高石 勝巳 《副会長》宮本 信 《事務局長》田代 周
《幹事》井上 純一・大高 光蔵・榎本 享二・菊池 正範・宮田 宏美
《会計監査》飯田 耕治郎・白岩 仙一

=====

報告2 令和4年度会計収支決算報告

◆ 右ページの会計収支決算書をご確認ください。ここに若干のコメントを記載します。

- ・ 収入の部で年会費の未納者が複数名います。退会された方もいて金額は計画未達ですが、未納の方で今年度も引き続き会員の方には当該年度の会費納入をお願いしていきます。
- ・ 2月に開催を計画していた総会はいよいよのコロナ再燃(第6波)で実施できませんでしたが、総会予算として組んでいた金額は7月に実施した「集いの会」に充当しました。
- ・ 幹事会は5回開催されましたが、内3回はオンラインで実施したため、交通費の出費が抑えられています。対外行事参加費や本部活動費は予算を絞った計画にしましたが、これらもコロナの影響で出費は抑えられました。
- ・ 情宣費はシニアクラブ便りや活動報告の印刷が多かったために予算オーバーとなりました。
- ・ 本部・支部行事費補助は積極的な活動を推進したいと考えた予算でしたが、引き続きのコロナ禍の影響から具体的にはわずかな活動しか展開できませんでした。この中にJAM茨城シニア資料郵送代金とありますが、支部行事を直接的な行動として実施できず郵便を利用したということで、昨年同様に通信費ではなく行事補助費としました。結果として繰越金は前年度に比べて7万円弱増えています。

令和4年度会計 収支決算報告

令和3年8月1日～4年7月31日

科目		計画	実績	予算対比	備考
収入	会費(振込)	352,000	346,000	98.3%	振り込み会員
	会費(現金)	22,000	20,000	90.9%	直接支払い
	活動助成費	500,000	500,000	100.0%	労組本部から
	その他				
	収入小計	874,000	866,000	99.1%	
	前年度繰越金	555,933	555,933	100.0%	
収入の部合計		1,429,933	1,421,933	99.4%	
行事費	総会「集いの会」	300,000	267,804	89.3%	集いの会補助
	幹事会	125,000	46,170	36.9%	交通費等
	上部団体加盟費	98,000	101,150	103.2%	地方JAMシニア会費 @500x会員数(但し群馬は@1000)
	その他		-		
活動費	対外行事参加費	50,000	1,060	2.1%	地方JAMシニアクラブ総会参加費、懇談会費、交通費
	本部活動費	80,000	43,030	53.8%	役員行動費(3役会、本部作業時の交通費等)
	本部・支部行事補助	200,000	11,170	5.6%	下山静香コンサート参加費補助、JAM茨城シニア資料郵送代金
	情宣費	150,000	173,300	115.5%	活動報告カラー版作成費・HP維持管理費・zoom利用料
	その他		-		
管理費	事務用品	5,000	-	0.0%	
	会費振込手数料	32,300	31,855	98.6%	
	その他		-		
通信費	郵送料	150,000	122,282	81.5%	メール便サービス利用料、宅配便、葉書代
	その他		-		
支出小計		1,190,300	797,821	67.0%	
予備費(残額)		239,633	624,112		収入の部合計-支出小計(残額は翌年度へ繰越)
支出の部合計		1,429,933	1,421,933		

=====

報告3 令和4年度会計監査報告

会計監査報告書

私たちは、日本ビクター・JVCケンウッド退職者の会(JVCKWシニアクラブ)規約第12条に基づき、令和4年7月31日現在の財務諸表を厳正に審査しました。

その結果、会計処理がすべて適正に表示されていることを確認し、これを認めます。

令和4年9月13日

日本ビクター・JVCケンウッド退職者の会(JVCKWシニアクラブ)

会計監査 飯田 耕治郎 印

会計監査 白岩 仙一 印

第1号議案 令和5年度 活動方針に関する件

令和5年度活動方針

1. 私たちを取り巻く情勢

◆ 2022年2月、ロシアのウクライナ侵攻が始まり、1年が経過しました。戦況は予断を許さぬ状況ですが、世界の社会・経済・文化・軍事、様々な面で今までの考えを変えさせてしまった大事件と言えます。コロナ禍で世界の経済が落ち込んでしまい、ようやく回復の兆しが見え始めたかのタイミングでの出来事で、とりわけエネルギー、食料などの面で大きな影響を受け、世界的な物価高騰を招いています。ロシアの天然ガスを頼りにしていたEU諸国ではその供給を絶たれ、ウクライナから小麦を輸入していた国では食糧危機に陥るなど、経済的に弱小な国ほどこの影響を大きく受けてしまいました。

莫大な戦争被害を被っているウクライナにおいては住む家はもとより電気・ガス・水道等日常生活に欠かすことのできないインフラが破壊され、学校や病院などの公共施設も瓦礫と化してしまいました。欧米諸国からの軍事支援を受けウクライナ側からの反撃も強まっていくことになるでしょうが、この戦争はどのような終結を迎えるのでしょうか。

◆ 世界は民主主義国家の影響力が弱まり、権威主義国家の活動が顕著になってきました。そして民主主義の衰退が危惧されています。

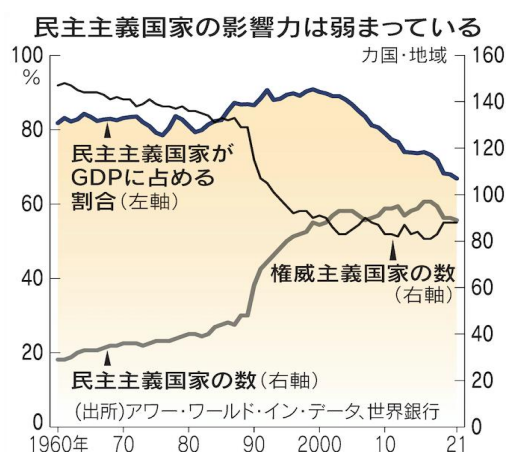
権威主義国家では政治的な権力が一部の指導者に集中しており、形式的な選挙で選ばれた大統領や国家主席などの政治指導者一人によって国が動く独裁国家も権威主義に含まれます。

民主主義の下では原則、多数決で物事が決定されます。しかし、反対意見も尊重されるべきもので、賛成・反対・どちらともいえず、様々な意見が交錯することが多いものです。

意見を言うのは自由です。しかし反対意見を述べる側にも参画と責任は存在します。時間稼ぎや反対発言のみが横行するようであれば民主主義は正しく機能しません。これでは物事の決定までに時間がかかり独裁国家の決断に後塵を拝することとなります。

独裁国家の長が公正な判断を続けられるなら、その国家はうまく回転していくでしょう。しかし、権力を得たものは人の意見も聞かずに独断で突き進み、結局は間違った結果をもたらしてしまうことは過去の歴史が語っています。民主主義はそれを回避する手段と言えますが、そこには正確な情報と国民の健全な認識があってこそ実現できるものです。

◆ 令和5年正月を迎えて早々に、米国の調査会社が「今年の10大リスク」を発表しました。その第1位、2位にロシア、中国の問題を挙げています。更に第5位にイランの現状、第7位に米国国内の分断も挙げられました。名ばかりの民主主義でその実は独裁者による強権支配、あるいはまた真の民主主義であるべきはずの選挙に敗れ暴力に訴えるなど法に基づかず力による支配の広がり世界を大きく揺るがす現状を目の当たりにしています。世界がこのリスクを認知し、いかにしてそれを回避していくか真剣に考えていかなければならないでしょう。



◆ 令和4年12月に日本国政府は『国家安全保障戦略』を策定・発表しました。

その前文には、『自由で開かれた安定的な国際秩序は、パワーバランスの歴史的变化と地政学的競争の激化に伴い、今、重大な挑戦に晒されている。』と記されており、日本は『総合的な国力（外交力、防衛力、経済力、技術力、情報力）をもって戦略的にアプローチする』としています。そして結びには『安定した民主主義、確立した法の支配、成熟した経済、豊かな文化を擁する我が国は、普遍的価値に基づく政策を掲げ、国際秩序の強化に向けた取組を確固たる覚悟を持って主導していく。』と書かれています。

策定された戦略は向こう10年程度を念頭においています。今後具体的な実施項目やそのプロセス、予算などが決められていくことになるのですが、国は国民に対する正確な情報開示を、そして国民は自身の理解度・判断力を高めていかなければなりません。

◆ 出生率がさらに下がって、日本の人口減少が進んでいます。人口は国力を示す指数の一つです。今年、岸田首相は“異次元の少子化対策に挑戦する”と発表しました。

たたき台となる具体策は3月末をめどに纏める方針で、そのたたき台を基に財源など検討の上実施していくこととなります。検討課題として、子を持つ家庭への経済的支援、幼児教育や保育サービスなどの支援拡充、育児に支障をきたさないような働き方改革などが挙げられています。東京都が国を出し抜くような形でいち早く、18歳未満の子供を持つ家庭に一律月5,000円の支給を決めましたが、国は遅ればせながらもしっかりとした子育て支援策をまとめてほしいところです。

ただ、メディアでは「子を持つ家庭への支援も大切ではあるが、適齢期になっても結婚しない、結婚できない男女が多い現状への対応はどうするのか。」との論調もあり、“異次元”と銘打つ政策がどのように展開されるのか注視していかなければならないでしょう。

2. 活動の基調

前段で見てきたように、世の中では大きな変動が起きています。このような中で、私たちは次のテーマで活動を展開していきたいと考えています。

◆ いきいき！と過ごすために

右はアスコム出版 西剛志 著「80歳でも脳が老化しない人がやっていること」2022年8月出版 の表紙です。昨年12月のシニアクラブ Online 会合でこの本他2冊の内容を基に話し合いを行いました。

80歳という一つの壁を乗り越えて人生100年時代を過ごしていくために日頃心がけることが書かれています。

要は、日頃の食事、運動、休息を正しく行っていることを前提にして、『常に自分は若いと思ひ込むこと、何にでも興味を示しチャレンジすること、欲を持つこと、ネガティブな話・考えをしないこと』が大切と述べています。

毎年の議案書に同じことを書いていますが、シニアクラブの重要な役割は、会員それぞれが自分の得意・自慢・勉強結果などを披露し、お互い切磋琢磨する場を作ることにあると考えています。そしてそのような場を通じて皆“いきいき”とした生活を過ごすことにつながってほしいと願っています。毎月開催しているオンライン会合はそのような場として一つの有効な手段であると考えています。参加者が更に多く加わることを期待するとともに、各人が持つ知識や関心事を是非紹介してください。



◆ 具体的な活動について、会員からの提案もお寄せください。

シニアクラブの活動年度では8月から新年度となり、すでに令和5年度の活動期間も半分を超えてしまったこととなります。

今年度の活動として、11月にシニアゴルフ交流会、円覚寺座禅・写経体験会が実施されています。しかし、長らく具体的活動の実施が活発にできなかったためか、参加者が少なかったのは残念でした。もっと数多くいろいろな機会を作れば自ずと参加者数も増えていくものと思います。



企画は本部だけで考えていても限界があります。コロナにはもちろん十分に気を付けなければなりません、これが収まるのを待ってばかりしていたのでは何も展開できません。ワクチン接種も進み、治療薬も開発されている中、もっと活発に活動を展開したいところです。会員の皆様からの要望・アイデアなど多く寄せてほしいと思っています。

尚、3年前に発行した「シニアクラブ行事参加券」をお持ちの方はその中でご利用ください。それを使うために、こんな企画を提案する！ というのは大歓迎です。

◆ 組織拡大の取り組みについて

昨年11月に元ビクター社員全員を対象にした「V9. 13 元気かい」が開催され、現在の会社役員を含めて120名ほどの人たちが集まりました。その中にはシニアクラブ会員も32名が参加しました。シニアクラブをはじめとして会社OB会(退職者の会)が活動を続けるためには新たな会員が加入してこなければなりません。そのためには、現在働く社員一人ひとりにOB会の存在を知ってもらう必要があります。

「V9. 13 元気かい」の中でシニアクラブとしての発言の場もあり、現会社役員の前で、会社が発展すればこそOB会も発展できる旨を話し、一定の反応を得たと思っています。

会社の協力無くしてOB会の継続には限界があります。シニアクラブも同様に労働組合との協力のもとに新たな会員を迎え入れる道筋を定めていきたいと考えます。

現退協議(現役と退職者間の話し合い)はコロナ禍が続く中、実施の機会を持つことができませんでしたが、これから定例的な会合を持つようにしたいと考えます。

勿論、現在のシニアクラブ会員の皆様から周りの知人・友人に声をかけてもらうことは大切です。昨年度の加入者はこの一声がかかったからこそその結果です。

◆ 上部組織との連携について

世の中はコロナを必要以上には恐れずに社会活動が動き出している中、JAM本部・地方JAMでは今まで限定的であった一般会員と共にした活動を再開させています。

各地方JAMの総会も一般会員を含めた形で実施されるようになり、交流を高めようとしています。

JAM茨城シニアクラブの会長は従来から当クラブ会長の高石勝巳さんが務めています。そして今年度から新たにJAM神奈川シニアの会長として当クラブ役員の飯田耕治郎さんが担うことになり、地域活動の要としての活躍が期待されます。

会員の皆様と共にその活躍を支援していきましょう。地方JAMの活動への積極的な参加を期待しています。

昨年当シニアクラブ便り12月号で「安いニッポン脱却への意識改革を」と題した新聞記事の紹介をしています。内容は「日本はこの30年間、物価も賃金も上がらない国として国民の意識が定着してしまった。とりわけ近年、世界が大きく変動する中で日本は取り残されている。この春闘を契機にして現状を脱却すべき」というものです。

連合の「芳野友子」会長にしてみれば、多くの中小企業を傘下に持つ出身母体、JAMの現状をよく理解しているはずであり、「安いニッポン脱却」は国全体の活動に高めていってほしいところです。勿論、国民一人一人がその意識を持っていなければなりません。

昨年の参議院選挙では「村田きょうこ」議員を誕生させました。これも組織の力の結集です。私たちシニアクラブの活動は世の中のほんの一端に過ぎないかもしれませんが、上部組織の活動にも参画して大きな活動に展開させていくことが大切です。

上部組織関連ホームページは次の通りです。時にはアクセスしてみてください。

連合	https://www.jtuc-rengo.or.jp/
JAM	http://www.jam-union.or.jp/
村田きょうこ	https://www.youtube.com/channel/UCRwXnLbzUGTW2lTH0gk2lhA

=====

第3号議案 令和5年度・6年度役員改選の件

《会長》 高石 勝巳 《副会長》 宮本 信 《事務局長》 田代 周
《幹事》 井上 純一、榎本 享二、大高 光蔵、菊池 正範、宮田 宏美
《会計監査》 飯田 耕治郎、白岩 仙一 以上 10名、前年度のまま継続

第2号議案 令和5年度 予算に関する件

令和5年度予算(案)

(R4. 8. 1~5. 7. 31)

科目		令和4年度 実績	令和5年度 計画	備 考
収入	会費(振込)	346,000	342,000	会員数187-免除11-直納5= 171 @2,000円
	会費(現金)	20,000	10,000	
	活動助成費	500,000	500,000	労組本部から
	その他	-	-	
	収入小計	866,000	852,000	
	前年度繰越金	555,933	624,112	
収入の部合計		1,421,933	1,476,112	
行事費	総会	267,804	300,000	交通費、懇親会補助 (前年度の数字は「集いの会」の実績)
	幹事会	46,170	150,000	交通費等
	上部団体加盟費	101,150	101,000	地方JAMシニアクラブ会費 + 振込手数料等
	その他	-	-	
活動費	対外行事参加費	1,060	50,000	地方JAMシニアクラブ総会参加費、懇談会費、交通費
	本部活動費	43,030	80,000	本部役員行動費(交通費等)
	本部・支部行事補助	11,170	200,000	本部および支部企画行事への補助
	情宣費	173,300	175,000	活動報告カラー版作成費・HP維持管理費・zoom利用料
	その他	-	-	
	活動予備費	-	-	
管理費	事務用品	-	5,000	
	会費振込手数料	31,855	31,000	振込手数料 203円 or 152円 or 0円
	その他		2,000	ゆうちょ振込用紙作成費
通信費	郵送料	122,282	150,000	メール便サービス利用料、宅配便、葉書代
	その他			
支出小計		797,821	1,244,000	
予備費(残額)		624,112	232,112	収入の部合計-支出小計 (残額は翌年度へ繰越)
支出の部合計		1,421,933	1,476,112	

【予算案作成のポイント】

1. 収入の部の内、終身会員登録者を差し引いて年会費収入を計算。会費欄は振り込みと現金と分けてあるが現金直納の対象はもっぱら役員としており、online振り込みなどの活用で現金による直納は減る見込み。
2. 総会費は総会参加者の交通費・懇親会費補助を含む。コロナの推移を見ながら今年度は対面で実施予定。幹事会費は交通費等を計上。前年度はonline開催が多く、実績は少ないが今後対面の会議も増やす予定。
3. 上部団体加盟費は神奈川、東京、千葉、茨城、群馬の5地方JAMに支払う。@500円(群馬は@1,000円)
4. 対外行事参加費、本部活動費、行事補助費は前年度計画と同じ。それぞれ予算に対して昨年度の実績が少ないが、これからはコロナに十分に気を付けながらも活発な活動に期待する。
5. 情宣費は対面の会合が少ない中、会報発行やオンライン会合にかかる費用を盛り込み、前年実績並みを計上。
6. 会費振込手数料はゆうちょ銀行における手数料値上げがあったが、実績を見ながら予想額を計算している。

とうとう高齢者)

高校三年生の替歌)

作詞：不詳
作曲：遠藤 実

残り少ない 余生を大事に
生きてゆこうよ これからは
ああ とうとう 高齢者 我ら
今日の日 感謝して
家族仲良く 暮らそうよ

年はとつても 生きがい持って
きずなつよく 歩み行く
ああ とうとう 高齢者 我ら
アルツハイマーに なるうとも
助けあつて いつまでも

若いあの日の 面影消えた
白髪頭に 遠い耳
ああ とうとう 高齢者 ボケて
しどろもどろに なるうとも
いつも笑顔で 元氣よく

元歌は舟木一夫[B♭]1963(S38)

老後は続くよいつまでも

(「線路は続くよどこまでも」の替歌)

訳詞：不詳
作曲：アメリカ民謡

老後は続くよ いつまでも
昔の話にや 事欠かぬ
何度聞いたと言われても
負けずにリピート この気力
フワフワ フワフワ 足腰たとえ弱つても
フワフワ フワフワ 口だきや達者で何よりだ

老後は続くよ いつまでも
ボチボチ墓地でも 探そうか
海でも陸でも 木の下も
ビルの中にも あるんだよ
フワフワ フワフワ あの世界はきつと良いところ
フワフワ フワフワ 千の風

老後は続くよ いつまでも
今日またプールとフィットネス
少ない年金 たくさん使い
日本の経済 支えてる
フワフワ フワフワ 疲れて大の字大いびきも
フワフワ フワフワ 翌朝スツキリシヤンシヤン